



「あわとり練太郎」大気圧タイプが集結



こちらは「あわとり練太郎」の真空タイプ



大型の「ARV-10kTWIN」なども展示

シンキー 自転・公転テクノロジー展

攪拌・分散用機材が集結

シンキー（東京）は、初めての自社製品プライベートショー「自転・公転テクノロジー展」を、7月17日午前10時より、東京都港区のTHE GRAND HALLにおいて開催した。

会場では、攪拌や分散、脱泡・脱気を同時処理できる自転・公転ミキサー／充填機「あわとり練太郎」シリーズをはじめとする同社の大小さまざまな現行製品について、そのほとんどを展示。これら製品は、多くのユーザーに「樹脂＋樹脂」や「樹脂＋粉体」、「ペースト同士」や「低粘度液体＋粉体（スラリー）」などからナノ材料まで、各種材料の攪拌や脱泡といった処理で用いられている。

また、今回は参考出品として、新開発の自転・超音波式ナノ分散機「PR-1」も展示。容器が自転すると同時に容器底面と側面から超音波照射を行い、より均一な分散液を得られる「新デュアルソニック方式」を導入した本製品は、カーボンナノチューブ（MWNT）の分散などで活用が期待できる“次世代型”の機材である。



参考出品された新型ナノ分散機「PR-1」

また、同社製品に関連して、アントンパールの粘弾性測定装置 MCR シリーズや密度・比重・濃度計の DMA シリーズ等を展示（アントンパール・ジャパン取扱）。同様に、マルバーンも、レーザ回折式粒度分布測定装置「マスターサイザー 3000」の新アクセサリなどを展示していた（スペクトリス・マルバーン事業部取扱）。

また、展示にあわせて次のセミナーも開催され、多くの参加者が訪れていた。

＜技術セミナー＞①【基調講演】「宇宙利用を加速させるロケット開発の今後」羽生 宏人氏（JAXA）、②「難水溶性薬物のナノ粒子化」橋本直文氏（摂南大学）、③「分散性をレオロジーで評価する」上田隆宣氏（上田レオロジー評価研究所）

＜自転・公転ミキサー活用 技術最前線セミナー＞④「新製品ならびに現在開発中の装置のアプリケーションについて」高塚 隆之氏（シンキー）、⑤「濃厚・高粘度分散系の粒子測定事例」笹倉 大督氏（スペクトリス）、⑥「粘弾性測定による分散・混練状態の数値化」宮本 圭介氏（アントンパール）